

社会福祉法人菊池園

令和3年度事業計画

1. 法人理念・使命・職員行動指針

当法人では、理念、使命、職員行動指針をよく理解し、実践することにより、障害者福祉の向上、地域福祉の向上を目指します。

(1) 理念 ～法人としての根本的な考え方～

【 菊池園法人理念 】

まずは利用者ありき。

すべてはそこから始まる。

利用者にとってより良い生活環境の実現を目指して、
全職員が一丸となって日々努力していく。

(2) 使命

【菊池園の使命】

「3つの幸せの実現」

- ① 利用者の幸せ
- ② 地域社会の幸せ
- ③ 職員の幸せ

(3) 行動指針 ～職員に求める職務姿勢～

【 菊池園職員行動指針 】

- ① (人権尊重) 利用者の人権を尊重し、安全・安心・快適なサービスを提供します。
- ② (接遇態度) 明るい笑顔と挨拶を行います。
- ③ (接遇態度) 好感の持てる身嗜み・態度・言葉遣いを行います。
- ④ (規律性) 時間厳守、機敏な行動、整理整頓を行います。
- ⑤ (責任性) 自己の役割を認識し、責任ある行動を行います。
- ⑥ (積極性) 向上心と広い視野を持ち、積極的に仕事に取り組みます。
- ⑦ (協調性) 部署内外にこだわらず、全職員で連携し職務遂行にあたります。
- ⑧ (専門性) 専門職員として、知識・技術・価値観の向上に努めます。
- ⑨ (守秘義務) 仕事上で知り得た個人情報に対して、守秘義務を厳守します。
- ⑩ (信頼性) 利用者や地域に信頼される施設になるよう努めます。

2. 基本方針

昨年は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、利用者や職員の生活、法人運営など、様々な分野に影響を与え、今なお終息の目途が立たない状況にある。今年度は引き続き感染対策に努めると共に、感染対策に最も有効とされるワクチン接種が利用者・職員に円滑に行えるよう関係機関と連携し準備を進めていく。また、利用者の皆さんが抱えるストレスを軽減するために、コロナ禍でもできる活動や外出の機会を増やし、少しでも喜んでいただけるよう支援を行っていく。

豪雨対策として、昨年度より大刀洗川からの浸水に備え「河川沿いへの擁壁設置」や敷地内に溜まった雨水を川に排出するための「排水ポンプの設置」を進めてきた。今年度も継続して実施し、梅雨入りする6月までに全事業を完了させる。

今年度は3年に1度の報酬改定の年となるが、障害分野全体で改定率は0.56%のプラス改定となった。当法人では生活介護サービスの基本単価は減額されたものの、看護師の手厚い配置を評価する「常勤看護職員等配置加算」の拡充や歯科医師等による口腔ケアの技術的指導体制を評価する「口腔衛生管理体制加算」の新設、さらには処遇改善加算の加算率の上乗せもあり、法人全体で850万円程の増収を見込んでいる。安定した経営につながるよう、適宜情報収集を行い対処していく。また、今回の改定では感染症や災害への対応力を強化する観点から、感染症や災害が発生した場合でも、継続してサービスを提供できるようにしていくために事業継続計画（BCP）の作成や定期的な委員会の開催、研修や訓練の実施などが義務化されることとなった。利用者の安全・安心を守るためにもしっかりと体制を整備していく。

入所部門では、ここ数年、利用者の高齢化・重度化への対応として、基本介護部分に手厚い体制が取れるよう日課の見直しを進めてきたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前に進めることができなかった。今年度はコロナ禍でもできる活動を増やしていくと共に、利用者の意向に沿った生活となるよう、再度見直しを進めていく。

在宅部門では、昨年、通所棟の改修にあわせて放課後等デイサービスの活動スペースの拡充を行い、医療的ケアを必要とする児童をより安全に受け入れることが可能となった。医療的ケア児の利用ニーズは増加傾向にあり、今後、段階的に医療的ケア児の受け入れ数を増やせるよう体制を整えていく。

地域における公益的な取り組みとして、今年度より筑前町内の社会福祉法人と連携し、災害時に高齢者等の要配慮者を支援する「災害支援ネットワーク（仮称）」の構築に向け準備を進めていく。災害時に被災しやすい高齢者や障害者の多くは、町内の社会福祉法人の在宅サービスを利用しており、各事業所が連携することで早期に必要な支援につなげることができると考えている。また、福岡県内においては大規模災害時に避難生活が長期化することで心身機能の低下などの二次被害発生を防止することを目的に、一般避難所等で福祉的支援を行う災害派遣福祉チーム（DWA T）の組成が進められており、当法人としても積極的に協力を行っていく。

「災害や感染症対策」「多様化・複雑化する利用者や地域ニーズへの対応」「人材の確保」など法人を取り巻く環境は厳しさを増しているが、サービスを支える職員がやりがいを感じ、成長し、チームワークをもって働くことができる環境づくりは欠かせない。今年度も役職者を対象にした研修会を開催し、価値観の共有化や風通しの良い職場となるよう組織づくりを進める。また、副主任の選任を行い、次世代を担う人材の育成にも取り組んでいく。

3. 令和3年度重点実施項目

(1) 利用者ニーズへの対応

- ① コロナ禍での新たな活動の実施
- ② 利用者の高齢化・重度化への対応
 - ・入浴の実施方法を見直し、基本介護と日中活動の両立を目指していく

(2) 地域ニーズへの対応

<在宅サービス（生活介護・放課後デイ）>

- ① 事業ごとに災害計画の作成及び訓練の実施
- ② 利用者数の増加に向けて体制整備

<地域における公益的な取り組み>

- ① ふくおかライフレスキュー事業への参加
- ② 筑前町社会福祉法人連絡会における災害支援ネットワーク（仮称）の構築
- ③ 福岡県内における災害派遣福祉チーム（DWA T）組成に向けての協力

(3) 魅力ある職場づくり

- ① 教育体制やキャリアパスの整備
 - ・役職者向けの研修会の開催
- ② 職員の労働環境や処遇の改善
 - ・浴室やトイレへの天井走行式リフト設置に向けての検討

(4) 災害対策・感染症対策

- ① 豪雨対策2期工事の実施
 - ・大刀洗川河川沿いに擁壁設置、排水ポンプの設置
- ② 災害、感染症を含めた事業継続計画（BCP）の作成・見直し

(5) 経営基盤の安定化

- ① 組織体制の見直し
 - ・生活支援部に副主任の配置
- ② 財務管理、事業管理、労務管理体制の整備
- ③ 報酬改定への対応